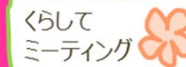


平成26年度「くらしでミーティング」実施報告

中国地方整備局



くらしでミーティングとは？

◇整備局の女性職員で構成されており、女性の感性を活かしたよりよいインフラ整備・管理（防災・交通）及び渉外活動（広報・地域連携）を行うため、組織の意識向上並びに女性の情報共有を行うことを目的としています。（平成26年6月設立）
会のネーミングは、「暮らしの担い手である女性たちの会」という意味から決めています。

メンバー(女性職員約65名)のうち、ボードメンバー(16名)を中心に活動しています。
(ボードメンバーミーティングは年4回程度の開催)

【平成26年度の実施内容】

- ◆総会(6/18) 外部講師による講演会【奥いずも女子旅つくる！委員会】
- ◆外部講師による講演会【アンデルセン】(8/7)及び意見交換会
- ◆外部講師による講演会【土木技術者女性の会】(3/11) 及び意見交換会
→組織の意識向上、情報共有
- ◆高専女子フォーラムin中国に参加(12/20)
→担い手となる女性土木技術者への早期のPR
- ◆Facebookの活用
【建設業に携わる人だけでなく、女性が見ても楽しめる記事を！】
→学生、一般の方への広報
- ◆整備局のHPにくらしでミーティングのページを作成
→リクルート

【高専女子フォーラムin中国】

整備局の仕事内容や、育児休暇や時短勤務など福利厚生について女子学生に説明。



【外部講師による講演会】

女性に向けた広報の取組紹介や、男女とも働きやすい職場への意識改革に繋がる講演会。



総会開催と「奥いずも女子旅つくる！委員会」の鈴木氏の講演



土木技術者女性の会
桑野会長

【Facebook】



H26.12の「いいね！」第1位！

高専女子フォーラム i n 中国



12/20(土) に広島国際会議場にて『高専女子フォーラムin中国』が開催され、中国地方整備局として、くらしてミーティングが参加しました。中国地方管内にある8高専の女子学生と45社の企業(そのうち官公庁は2社)が発表を行いました。くらしてミーティングは、高専の女子学生と先生に向けて、整備局の魅力と女性職員の活躍をポスターセッションで発表。また、併せて中国地方建設青年交流会等と連携して、中国地方の建設業界の取り組みについて紹介をしました。

女性技術者の活躍や、女性が働きやすい職場環境の制度紹介



- 対話式なので話やすく、学生から積極的に質問をする様子が見られた。
- 子育て支援の制度などを説明すると、『いいですね！』など関心を持っていた。公務員に興味があるのは、土木系、建築系の学生が多かった。
- 学生の発表の中には、水環境など整備局の仕事とつながるものもあったが、全体的には電気系の発表が多かった。

女子学生及び先生からの感想

- 高専のOGがこんなに沢山いるということは、働きつづけられる職場ということだと思う。
- 公務員の仕事がどんなものかわかって良かった。
- 建築でも、土木で入る人もいるというのがわかった。
- 学校の先輩がポスターに出ていてびっくりした。

女性講演会開催～女性がもっと活躍できる職場を目指して～

くらしで
ミーティング 

- 女性がもっと輝き、活躍できる中国地方整備局を目指し、くらしでミーティングプレゼンツの女性講演会(H27.3.11)を開催。技術系を中心とした女性職員をはじめ、管理職等多くの職員（82名（女性37名、男性45名））が参加。
- あわせて、講師と女性職員との意見交換会を開催。講師からのアドバイスをもらうとともに、女性職員同士の情報共有、ネットワークを形成。

女性講演会「女性土木技術者のワークライフバランス」

- 冒頭、局長から「組織としての意識改革が必要」等職員向けメッセージを発信
- 女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りを目的とした「土木技術者女性の会」会長の桑野玲子氏（東京大学生産技術研究所教授）をお招きし、自身のご経験と土木技術者女性の会の取組を紹介。

【働き方】

- ・スーパーウーマン型からワークライフバランス型へ
- ・ライフステージの各段階において、無理なく継続できる働き方を自分で選択
- ・焦らない、人と比べない
- ・長く続けていれば夢が叶うかもしれない
- ・仲間の力を遠慮せずに借りる お互い様

【組織へ向けて】

- ・少数派の努力のみに期待してはいけない
- ・長期的視野の人材育成
- ・環境改善は多数派の意識改革がカギ



講演に耳を傾ける職員（女性職員、管理職等）



土木技術者女性の会
桑野玲子会長

講師と女性職員による意見交換会

- 小グループに分かれ、講演会の感想や桑野氏への質問などを話し合い、桑野氏よりコメント。

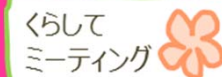
- 【感想】
- ・（若手職員から）これから結婚、出産等を考える年齢となるので、女性の生き方についてお話を聞き、心にくるものがあった。
 - ・話の中に、女性として共感できる部分がたくさんあった。



意見交換会の様子

出前講座「中国地方整備局の仕事と女性技官の活躍」 (建産廃ゼロ協・講習会)の実施

企画部企画課



- 平成27年3月17日、広島市中区のオリエンタルホテルで、建設関連産業廃棄物再資源化連絡協議会（通称・建産廃ゼロ協）の施策&ビジネス講習会が開催され、「中国地方整備局の仕事と女性技官の活躍」をテーマに、企画部企画課の富田係長が講演した。
- 会員企業のほか、県立広島大学、広島修道大学の教授や学生らの27名が参加し、講演後には質疑・意見交換を行った。

講演会の状況

- 整備局の概要を説明後、これまでの経験から「女性は覚えられやすい」「地域とふれ合う仕事では受入れてもらいやすい。」など女性であることのメリットについて紹介。
- くらしてミーティングの取組や、結婚・出産後も仕事を続けられるための制度について説明。
- 企業に対しては、「女性技術者を入れた試行工事も落札され、今後もその他の取組が出てくると思う。女性の声を聞きながら、柔軟に対応して欲しい」との呼びかけ。
- この春から働き始める女子学生や、就職活動中の女子学生から「このような機会があって良かった」との感想。「いずれは結婚、出産しても働きたいと考えているが、これまで働いてきて、大変だったことは何ですか？」「大変だった時、どのようにして乗り越えましたか？」などの質問がありました。



中建日報(H27.3.19)



講演会の様子



質問する女子学生

【ゼロ協からの感想】

- いつもと違い、意見を出しやすい雰囲気良かった。今後、業界とくらしてミーティングとコラボして何かやるのも面白い。
- 地方の企業にはまだほとんど女性が少ない。積極的に採用するためにも、国からの支援があると良い。